

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書

2015年12月4日「名取市箱塚屋敷仮設住宅集会所」

Happy Doll Project

2回目の訪問となる名取市の箱塚屋敷仮設住宅は、閑上地区の方が多く住んでいます。待たれる里帰りは2年後とされていますが、現在、閑上は、かさ上げ工事の真っ最中。工事と町づくりが順調に進むことを祈るばかりです。

冷たい雨が降ったこの日。活動の準備を始めようとする私たちに、住民のみなさんが、「まずはお茶を飲んで体を温めて…」と、嬉しいお心遣い。みなさんと、前の晩に吹き荒れた強い雨風の話などをしながら、あつあつのお茶をいただき、ゆっくりと活動をスタートしました。

2度目の参加となったみなさんは手際よく進める一方で、初めての方々にアドバイス。わいわいおしゃべりをしながら、個性豊かで楽しいマスコットたちが次々に誕生していきました。

この日の話題で心に残ったのは、戦時中の話。手を動かしているうちに、「昔は、小学4年生で、防空頭巾を作ったもんよ」という話をきっかけに、仙台空襲の話のほか、当時の閑上の様子もどんどん語られました。苦しい体験や辛い体験も、時にはユーモアを交えながら、明るく語るみなさんの姿が印象的でした。

震災から4年9カ月。この地域で、2度も「生きること」と正面から向き合わなければならなかったみなさんのお話はとても深く、忘れてはいけないことばかりで、私たちの心に刻まれることとなりました。

どうかみなさんいつまでもお元気で、戦争や震災の話を、子どもたちや次の世代に語り継いでいってほしいと強く思いました。とても貴重な機会をありがとうございました。



